

学校訪問シリーズ 8

津久見市立青江小学校から学ぶ

学校の教育目標「心豊かで、よく学び合い、仲間とともに伸びようとする青江っ子の育成」を達成するため、育成を目指す資質・能力を「課題発見力・課題解決力」と定めています。

本校は若い職員が多いこともあり、学校組織力の向上を通して人材育成にも取り組んでいます。7月13日の飛込授業以来の訪問でしたが、子ども達の成長した姿と、若手の教職員が活き活きと授業をする様子を見て、とても嬉しく思いました。

学校経営から学ぶ

本校では、これまでの実践から「課題発見力・課題解決力」を育成するためには、子ども自身が自己有用感を感じる事が土台になると分析したそうです。

そのため、現在取り組んでいる運動会の練習では、自分の行動がみんなのためになるような課題を発見する場を設け、その課題を解決するような助言を行っています。

授業から学ぶ

参観したどの教室からも、先生方のほめ言葉があふれていました。特に2年生の教室では、はやく書けた子どもや正しい姿勢で待っている子どもをほめることで、クラス全員がそのような良い行動の真似をしていました。授業規律の効果的な指導の在り方を学びました。

また、3年生の教室では、新聞係、ぬりえ係、レク係等、子ども達がこの学級に必要なだと考えた係をつくり、その活動について感謝のメッセージを書いていた。

支援学級では、それぞれの子どもが自ら課題を引き受け、静かに取り組んでいました。

通級指導の教室では、スモールステップの課題を与えることで、多くの成功体験を感じさせていました。

5年生算数では、本時の評価規準を達成しているか確認するために、一人一人が自ら考

えた方法を教師に説明を行っていました。このように、低学年から子ども達の自治的な学級づくり、授業づくりができてることに驚きました。「課題発見力・課題解決力」の実践がさらに推進されることを期待します。



NO.129 2022年9月 津久見市立青江小学校

課題解決力

みんなで考えると、いろいろな方法を知るだけでなく、新たなやり方もみつける。



NO.128 2022年9月 津久見市立青江小学校

課題発見力

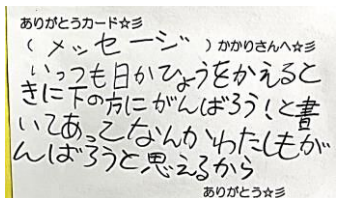
あと何が分かればできるかな？
どんな形にすれば解けるかな？
課題を考えるとやる気になる。



NO.131 2022年9月 津久見市立青江小学校

次につながる

できた人は、やる気の姿勢で静かに待つ。そして、次にどのような指示があるか予測する。



NO.130 2022年9月 津久見市立青江小学校

流されない

一人ひとりの考えを大切にすることで、新たな解決策がみつかる。

